

## 夏の全国知事会議に向けた重点課題(文教・スポーツ常任委員会)

## 項目1：「イノベーション・コモンズ(共創拠点)」の発展・深化に向けて

## (提案理由)

- ・昨年夏に提言した「イノベーション・コモンズ(共創拠点)」の取組が、全国各地で進められているところであるが、大学等が地域の期待に最大限応えるためには、ソフト面の取組と、その取組を支える施設の機能強化や老朽化対策を含む大学等の施設の整備充実を継続的に図る必要があるため。

## (提案内容)

- ・国公立、私立を問わず、大学等が、地域の課題解決や新たな価値を創出する、地域の多様な主体による共創の拠点(イノベーション・コモンズ)となるよう、昨年度の提案をさらに発展・深化させ、ソフト・ハード一体となった教育研究環境の改善を求める。

## ※ 提案の背景

- ・昭和 40～50 年代にかけて整備された、大学等の施設群が一斉に老朽化を迎えており、「イノベーション・コモンズ」化に向けた動きにブレーキをかけかねない。

## 項目2：学校教育を担う人材の確保に関する取組の充実について

## (提案理由)

- ・全国的に教員不足や教員の長時間勤務が課題となっており、学校教育を担う人材の確保が求められていることから、国の動向を踏まえつつ、取組の一層の充実を求める必要があるため。

## (提案内容)

- ・学校における働き方改革、教員の給与その他の勤務条件について特例を定める、通称「給特法」の抜本的な見直しに向けた検討、産休・育休代替教員への対応、教員採用選考試験の見直し、教員養成大学と連携した教員養成の取組の一層の充実を求める。

## ※ 提案の背景

- ・「給特法」の抜本的な見直しに向け、現在、公立小学校・中学校等教員勤務実態調査が実施されており、5月頃に速報値が公表される予定。
- ・中央教育審議会において、教員採用における選考試験の早期化・複線化の検討や学校における働き方改革の推進などを求めた答申がまとめられた。(2022/12/19)  
なお、選考試験については、昨年10月に立ち上げられた「教員採用選考試験の在り方に関する関係協議会」にて検討が進められており、5月頃に取りまとめ骨子が公表される予定。
- ・文部科学省より、文教・スポーツ常任委員会委員長へ、大学と教育委員会が連携した教員養成等の一層の充実について事前説明があり、その後、教員養成学部を置く国立大学法人及び各都道府県へ依頼があった。(2022/12/27)